

# わっか

地域の想いと活動を繋ぐ

## 創刊号

令和3年(2021年)3月発行

編集・発行：社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会  
〒279-0042 浦安市東野1-7-1 総合福祉センター内



生活支援コーディネーターは地域支え合い会議のメンバーや市民の皆様と協力しながら、地域の中の「つなげる」「引き出す」「伝える」「支える」という4つのキーワードを元に高齢者の安心した暮らしを支えるために活動しています。



地域支え合い活動ガイド&マップ  
(浦安市社会福祉協議会HP内)

# 地域支え合い会議とは…

当代島・北栄・猫実・堀江・富士見

## 元町圏域



座長 鈴木 信男さん

元町は昔からの繋がりや親戚が近くに住んでいる方が多いという人間関係が濃い地域です。その反面、転入者など地元との繋がりが無い、既存の繋がりから漏れている方が孤立しがちであり、この二つの特徴が混在しているという点も抑えておくべき特徴であり、どのように人間関係を構築していくかが大きな課題であります。元町の中においては「お祭り」が多世代での人と人とを繋ぐ重要なツールとなっており、元町の強みでも感じます。

人が老いた時に必要な集いの場とは何か、場所だけでなく心の繋がりも大切な要素です。

集いの場が繋がり原点となるような浦安の地域づくりを地域支え合い会議で考えていければと思います。会議ですぐに結果を出すということではなく、継続してじっくり地域づくりの話をしていくというプロセスに意味があると感じています。

東野・富岡・今川・弁天・舞浜

## 中町南部圏域



座長 宮下 喜久子さん

この会議で、圏域内の5地区でも違いがあるということが最初に分かったことの1つです。

その中でも、舞浜地区は買い物に困っていることを改めて実感しました。その点を会議の中で舞浜地区の構成メンバーが受け止め、動いてくれたことで舞浜3丁目マルシェの開催につながったことは、中町南部において大きな動きでした。

これからはコロナ禍でどのように活動を続けていくかが重要であり、自立の維持やそれをどう助けていくかという時代だと感じます。

近所の人と知り合いになるということも助け合いにおいて大切なことであり、世代を超えた助け合いも重要な課題です。

この会議が地域を見つめなおす良い機会となっています。

月に1回の集まりで、知り合いも増えました♪



あんどスペース(平成30年10月10日撮影)  
(美浜西エステート)

『あつたらいいな』か



移動ぼっかぽか in 当代島(平成31年1月27日撮影)  
(当代島公民館)

たくさん笑って  
ちも「ぽっか

近  
し

浦安市では市内の4つの圏域に分け、福祉分野のみならず、多様な主体がメンバーとなり会議が開催されています。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、「あったらいいな」を作り出す介護保険法に規定された仕組みです。

海楽・美浜・入船  
**中町北部圏域**



座長 内田 香さん

中町北部は、昭和50年代にファミリー層で転入されてきている世代が多く、一気に高齢化が進んでいるのが特徴の一つです。子育ての時の繋がりもあり、助け合ってきた経緯は今も続いています。

マンションも多く、自治会や管理組合と協力して、マンションごとの課題を話し合うことが今後必要になってくると思われます。

この会議は、地域について連携や情報交換ができる場であるとともに、多機関・多職種の方がメンバーにいて、様々なことを知る機会にもなりました。

令和2年度は、圏域内の地区で生活実態に関するアンケートを実施できました。今後は結果から見えてきた住民の声を元に地域づくりのサポート体制を考えていければと思っています。

また、地域へどのように活かしていくか、地域支え合い会議は少し先を見越して動いていければよいのではと考えています。

高洲・明海・日の出  
**新町圏域**



座長 副島 克行さん

この会議を通して、地域の方々と繋がること、新町の様々な特徴が共有できたことが大きいと思います。話し合いの中でも、新町はマンションが多く、昔からの繋がりが少ないこと、単身の高齢者や呼び寄せの転入者が多く孤立化しやすいこと、気軽に行ける居場所や高齢者の日中の居場所が少ないことなどが課題として挙げられました。これらの課題に対し、既存の活動を活かした集いの場や居場所づくりをするにあたり、新町にあるニューコーストとの連携はキーとなっています。会議には福祉業界だけでなく、商業施設といった他業界の方が参加してくれることに感謝すると共に、垣根を越えた幅広い活動ができることに期待しています。今後は、地域の繋がりや居場所について、深く協議していきたいと考えています。そして、集いの場が増え、1人でも多くの方が参加できる、地域共生社会を作っていきたいと考えています。

# ら生まれた通いの場

て気持  
ぽか

近所の人と知り合  
いになれたよ



移動ぽっかぽか in 富士見 (平成30年8月28日撮影)  
(富士見和貴会館)



移動ぽっかぽか in 堀江橋 (令和2年10月28日撮影)  
(堀江橋自治会館)

ここで出来た仲間  
たちと、新しいこと  
に挑戦!

※新型コロナウイルス感染症拡大前及び感染症対策をした上で実施しています。



# ♡ コロナ禍でもつながりをあきらめないまちづくり♡

特集① 【舞浜3丁目マルシェ】伊能 隆男さん(舞浜3丁目自治会 会長)インタビュー

## ～住民の力で作りだす新たな集いの場～



超高齢化が進む中町において、舞浜地区は高齢化に伴い免許を返納する方も多く、近くに大きなスーパーなどが無い事から買い物がやや不便な地区です。マルシェ開催のきっかけは、地域支え合い会議で30年来舞浜地区に来ている移動販売の情報を聞いたことが始まりでした。自治会として、移動販売を形にしていきたいと役員会に働きかけ、市と地域支え合い会議の合意を得て現在の形に繋がっています。20代から80代の幅広い世代のお世話役のボランティアの皆様のお陰で成り立っています。自主的に参加してくれる

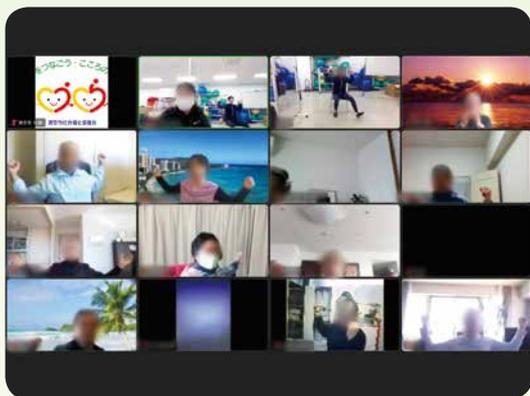
方が多く、連帯感もあり意識の高い地区であることも特徴の一つです。

地域支え合い会議にはゴールがないが、一つでも具体的なものができると道筋が見えてきます。それぞれの地域の特性を活かし、発展して違った形の集いの場を考えていく参考としてこのマルシェがなればと思います。一時的な活動ではなく、継続し根付かせることを目標にしていきたいです。



特集② 【シニアウェルネスサロン】倉光 幸司さん(浦安市社会福祉協議会海浜2支部 副支部長)インタビュー

## ～いつまでも元気に笑顔あふれる自分であるために～



画面越しに見える、皆さんのいい笑顔!こちらは、新町地区にお住まいの方を対象に開催されている『シニアウェルネスサロン』の様子です。

了徳寺大学、高洲地域包括支援センター(通称:ともづな高洲)、浦安市社会福祉協議会海浜2支部と南3支部の共催で行っています。

了徳寺大学の先生や、ともづな高洲の看護師に、専門的な技術や知識を教わりながら、介護予防・フレイル予防に取り組み、実践することを目的としています。

今年度は、コロナ禍でもできることはないかと協議を重ね、オンラインと会場のハイブリッド型で行うこととなりました。

自宅でZoomを使える方はオンラインでの参加、自宅でZoomを使うことが難しい人にも、会場で参加した時にレクチャーし、次回からオンライン参加が出来るようお手伝いする取組も行っています。これにより、緊急事態宣言が発出され、会場となる公民館が使えなくなっても、自宅から参加できるようになりました。

今後もオンラインと現地での参加をうまく併用しながら、「楽しくフレイル予防に取り組める地域の居場所」となるよう、活動を続けていきたいです。

